

**平成18年度事業活動計画**  
(平成18年4月1日から  
平成19年3月31日まで)

日本数学協会

日本数学協会は、数学を学ぶ楽しさを追求するだけでなく、珠算や和算といった伝統数学の研究・普及、さらには数学の活用に関する研究や数学に関連する諸学問分野の進展に積極的に寄与するとともに、数学関連の諸学会とも協力することにより、我が国の数学文化の向上に努めることを目的として、平成14年12月に設立した。

設立から5年目となる平成18年度においては、下記の事業を実施する。

記

1. 会員の新規加入促進

あらゆる機会を活用して会員（正会員・賛助会員）の新規加入促進に努め、平成18年度末までに正会員数の1,200人の達成を目指す。

2. 年次大会の開催

会員を中心とした日頃の研究成果の発表等を行う年次大会を開催する（年1回）。

3. 数学文化公開講演会や算数・数学教育シンポジウムの開催

会員の相互交流や日本数学協会の認知度向上、会員の新規加入促進などを図るために、全国の複数の都市で数学文化公開講演会を開催する（年4回程度）。

4. 分科会活動などによる会員相互の交流促進

ホームページ (<http://www.sugaku-bunka.org>) に開設している「会員専用掲示板」や会員が一堂に会する年次大会の際に開催する5つの分科会（珠算・和算、数楽、数学活用、数学・数学関連領域、算数・数学教育）ごとの意見交換会などにより、会員相互の交流促進を図る。さらに、分科会の地方支部の設置促進を図り、会員が集まりやすい環境づくりに努める。

5. 機関誌「数学文化」および「別冊数学文化」の編集・発行

会員の研究論文やエッセイなどを掲載した機関誌「数学文化」の第6号および第7号を編集・発行し、会員に配布するとともに、日本数学協会の認知度向上や会員の新規加入促進を図るために、全国の主要書店で販売する。また、会員の様々な活動、特に研究、新しい問題やパズルなどの発表ができるように、「別冊数学文化」を編集・発行する（年1回程度）。

## 6. 会報の編集・発行

総会や年次大会、数学文化公開講演会などの主要事業の案内や報告のほか、5つの分科会での活動状況や地域ごとの集まりなどの会員の日頃の活動状況等を紹介するために、「会報」を編集・発行する（年4回程度）。

## 7. ホームページを活用した情報提供の充実

日本数学協会の事業活動のみならず、会員のエッセイや数学に関連した読み物等を掲載するなど、会員に対する情報提供の充実に努める。

## 8. 暗算に関する研究の実施

暗算の脳科学的な側面の解明、暗算を高速で行うためのアルゴリズムの解明など、暗算に関する専門的な研究を新たに行う。

## 9. 数学文化の普及（数学月間の実施）

7月22日～8月22日を数学月間とし、すべての国民に数学に親しんでもらい、数学と数学教育の意義を再確認する運動を行う。